

## 「県立歴史館の今後のあり方」に対する取り組み

県立博物館として、県全体の歴史に関する調査研究などを体系立てて行い、県内博物館の中核的な役割を果たす。  
また、県北部に偏りがちなこれまでの活動を見直し、県内全域に出かけ活動する博物館を目指すとともに、「信州学の知の拠点」のひとつとしての機能を充実させる。

取り組むべき方向性	課題	課題に対する取り組み	平成27年度の取り組み	備考
Ⅰ 県内博物館の中核的な役割の充実	【課題1】 全県的な視野での課題取組の設定、体系的調査・研究、情報提供の充実	① 地域の歴史・文化に関する共同研究 ○ 市町村博物館、学会、大学等の関係団体との共同研究を実施し、成果を企画展、講座として公開する。	○ 長野県測量設計業協会との地図・絵図の研究会で共同研究を進め、成果を平成27年度冬季展で活用する。 ○ 市町村教育委員会との城下町研究会で現地視察を含めた研修会を実施し、平成28年度冬季展で活用する。	
		② まちづくり団体、NPO等との連携、協働 ・ まちづくり団体、NPO等と連携し地域資源を発掘、保全し、有効活用を図る。 ・ 県教委・県博物館協議会と連携し、博物館職員の資質向上のための研修会を充実する。	・ 秋季企画展でまちづくり団体等との連携によるイベントを開催する。	
		③ 県内博物館との連携 ・ 県内博物館と連携し、各博物館の職員と協働した連携講座等を充実する。 ・ 発進力とPRの向上を図る。	・ 飯田美術博物館（飯田市）、豊科郷土博物館（安曇野市）との連携した講座を開催する。 ○ 県博物館協議会HP開設し、連携強化を図る。	
		④ 館蔵史資料の公開と活用 ・ 史資料を計画的に調査し、成果を公開する。 ○ デジタル化した「信濃史料」のインターネットでの公開活用を図る。	・ 地図、絵図の調査を実施し、その成果を公開する。	
		⑤ 県内出版社の協力による館発行図録の販売	・ 平成28年度冬季展「近世城郭・城下町展」図録の刊行を出版社と提携し計画する。	
		⑥ 新聞社等への執筆、情報提供	・ 信濃毎日新聞社「しなの歴史再現」、読売新聞社「名作招待席」へコラムを掲載する。 ・ 企画展、講座等の情報発信を行う。	
Ⅱ 県内全域での活動の推進	【課題2】 立地面に起因する利用者の地域的な偏りの解消	⑦ 企画展・館蔵品展の巡回開催 ○ 企画展、館蔵品展を県内各地で巡回実施する。	○ 「長野県の遺跡発掘2015」の伊那市、安曇野市での巡回開催を行う。	
		⑧ 講演会・講座の巡回開催 ○ 講演会、講座を県内各地で巡回実施する。 ○ 信州首都圏総合活動拠点で講座・展示を実施する。	○ 「やさしい信濃の歴史講座」の上田市、松本市での巡回開催を行う。 ○ 「長野県の遺跡発掘2015」の伊那市、安曇野市での巡回開催に合わせた講演会等の開催する。	
	【課題3】 県民全体の利活用を促進	⑨ 県民参加の促進 ○ 研究テーマや開催希望企画展を公募し実施する。 ○ 展示解説、運営サポートボランティアを積極的に募集する。 ・ 事業評価の外部評価を充実する。	○ 展示解説・体験ボランティアの募集・要請を行い、学校見学時の解説、イベント運営への活用を進める。 ・ 常設展解説等館運営ボランティアの積極的な活用を図る。 ・ 来館者アンケート回収率を高め、評価の充実を図る。	
Ⅲ 歴史学習拠点としての役割の充実	【課題4】 中农信地域小学校の社会見学学習の促進	⑩ 体験学習、出前講座の実施 ・ 土器等を活用した体験学習の出前等の拡充を図る。 ・ 公民館等への出前講座の充実を図る。	・ 出前イベント「縄文人になろう」を実施する。 ・ 戦後70年企画「長野県民の1945」等に関連した出前講座を実施する。	
		⑪ 住民参加による史資料の調査 ○ 住民参加の資料調査や現地見学を実施する。	○ 長野県文化財活用活性化実行委員会に参画 体感！信州遺産ガイドツアー「原産地から消費地まで、まるごと黒曜石がわかる旅」見学会の実施	
		⑫ 研究成果発表の場の提供 ○ 県内郷土史研究会等に発表の場を提供する。	○ 「発表の場」の提供に向けた環境整備を進める。	
	【課題4】 中农信地域小学校の社会見学学習の促進	⑬ 学校の利活用を促進 ・ 小学校の利用率を出前講座等も含め高める。 ○ 館蔵史資料等を活用した高校生等の歴史活動を支援するプログラムの作成・提供を行う。 ● 職員によるすべての学校に対する解説のあり方を見直し、業務の削減を図る。	・ 中农信地区の校長会、教頭研修会での歴史館についての情報提供を行い、利用促進を図る。 ● 常設展解説等館運営ボランティアの積極的な活用を図る。（再掲）	

### 【その他の課題】

課題	課題に対する取り組み内容	平成27年度 of 具体的な取り組み	備考
【課題5】 『歴史情報センター』としての機能充実	① 県内外諸機関との連携を進め、歴史情報を収集する。 ② 歴史情報ネットワーク化の推進する。 ③ デジタル・アーカイブの推進する。	○ データ収集、データベースの構築	
【課題6】 歴史館施設の機能の検証、改善	① 開館後20年が経過した常設展示の検証 ② 老朽化が進んでいる施設設備の改善	○ 老朽化が進んでいる「常設展示」、「施設設備」について、検証、施設点検を行い、今後取り組むべき課題整理を進める。	

評価の区分  
A 目標を上回る成果をあげた  
B ほぼ目標を達成した  
C 目標に及ばなかった  
D 目標に遠く及ばなかった